

第4回居住性能評価指針検討WG 議事メモ

A. 日時 2011年1月28日 金曜日 18:00～20:00

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 横山主査, 他6名

D. 提出資料 (提出委員名)

No.4-0 第3回居住性能評価指針検討WG 議事メモ

No.4-1 風による振動

No.4-2 道路交通振動に関する資料

No.4-3 鉄道振動に関する資料

No.4-4 研究紹介

No.4-5 建築設備振動に関する資料

No.4-6-1 建設工事振動に関する資料

No.4-6-2 建設作業振動と苦情件数

No.4-6-3 作業振動

No.4-6-4 よくわかる建設作業振動防止の手引き

No.4-7 長周期地震動と高層建築

E. 議事内容

1. 議事メモ確認

- ・事前メール配信で確認

2. 各委員担当作業の報告

2-1. 地震動 (資料 No.4-7)

- ・資料 No.4-7 の説明
- ・長周期地震動に関する問題のうち環境振動として扱うものについて意見交換
 - 長周期地震動は、構造、材料、環境振動が関連する複合的な問題
 - 「不愉快な揺れ」は環境振動の範疇
 - 建築物の機能維持を目指したときの環境振動の扱い

2-2. 道路交通振動 (資料 No.4-2)

- ・振動源別で分けた文献調査方法について意見交換
 - 異なる振動源どうして重複する文献の扱い
 - 他分野での文献の扱い (例: 道路振動に対する土木分野での研究・調査)
 - WG 活動の方向性と調査の関係
 - 評価指針を対象、評価を設計に落とし込むのは設計指針で。
 - 振動源 (「音色」、振動特性) ごとに評価方法の構築が望ましいのでは。その意味での振動源別の文献調査という位置づけはあり得る。
 - 受振点での評価に関する調査に絞ることもあり得る。その場合、振動源から受振点までの調査は、例えば評価小委員会の評価 WT で行う。
- ・高架道路振動測定事例の紹介

2-3. 建築設備振動 (資料 No.4-5)

- ・資料の説明
 - －設備振動に関する研究は少ないが、クレームは多い様子
 - 設備振動を対象とした評価のガイドライン等が必要では
 - －一定常に近く卓越振動数が限られることが多い

2－4. 鉄道振動（資料 No.4-3）

- ・資料の説明
 - －測定事例は多い。「現状と規準」以降の新たな問題に対するものも含む.
 - －鉄道振動の評価事例もあり

3. 次回開催予定

- ・次回 WG は、2011 年 4 月 26 日（火）16 時 00 分から本会会議室で開催予定
- ・今回の資料 No.4-4, No.4-6-1～4 を必ず持参すること